

第98回津久井地区まちづくり会議全体会結果

- ・日 時:令和5年4月18日(火) 午後7時00分～8時10分
- ・場 所:津久井総合事務所 3階 第1・2会議室
- ・出席者:委員16名出席(7名欠席)
- ・傍聴者:なし

1 開 会 佐藤副代表

2 代表あいさつ 熊谷代表

3 協 議 事 項

(1)地域活性化事業交付金について

- ・令和4年度地域活性化事業交付金事業評価について

事務局より、昨年度の交付団体について、全団体の事業が完了し、緑区における取扱いに則り、津久井まちづくりセンター職員で実施した評価及びまちづくり会議委員から頂いた意見について、報告した。

<主な意見等>

団体ごとで収支予算書の書き方が異なっているので、評価をする上では、ある程度の統一感を持たせた方が良いのではないかと。

- ・令和5年度地域活性化事業交付金交付予定団体について

事務局より、今年度、申請希望があった団体の事業等について説明した。

<主な意見等>

特になし。

(2)令和5年度地区まちづくり会議のあり方について

事務局より、今年度のまちづくり会議の部会のあり方及びまちづくり懇談会への取組み案について説明した。

(案1)部会を二つ設定し、各部会が隔年で懇談会に臨む

(案2)部会を二つ設定し、懇談会では、各部会での検討内容を擦り合わせた共通テーマを設定する

(案3)部会を一つに併合する

<主な意見等>

・懇談会が形骸化している。

・担当課をよんで、勉強会等を開催したらどうか。

・懇談会がセレモニー化していても、地区の考え等を市と共有することができるので、実施することの意義はある。

・これまでどおり、部会は二つのまま、隔年で各部会が懇談会を実施するのが望ましい(複数意見あり)。

- ・地区として、より具体的な課題の抽出、また解決できるテーマを設定した上で、フィールドワークを行うなど、目に見える形で取組みができるが良い。
- ・加速する高齢化について、高齢者を支えるために今できる取組みを考えることが重要であり、例えば、交通不便、買い物及び通院弱者について、意見交換をしてみてもいいか。
- ・津久井地区は広大なため、エリアによってその特性が異なることをよく考えることが必要であり、例えば、ヤマビルの生息域の拡大について、意見交換をしてみてもいいか。
- ・津久井総合事務所周辺公共施設再整備に向けた市民検討会では、毎回、メンバーを入れ替え、班でのグループワークを行ったがメンバーが異なることで、幅広い年代の意見を共有することができて、大変興味深かった。案3をグループワーク方式とするのはどうか。

<結果>

委員の意見を踏まえ、事務局と調整し、運営委員会で役員に最終案として諮った上で、次回の全体会の協議事項とする。

(3)まちづくり会議委員の任期中の交代について

まちづくり会議委員の任期は、会則で2年となっており、今年度は第7期(令和4年5月13日～令和6年5月12日)の任期途中にあたる。選出団体において役員等の変更がある場合には、選出母体宛てに送付した推薦報告書にて、令和5年度の委員の推薦を依頼した。

4 そ の 他

特になし。

5 閉 会 佐藤副代表

以 上